

# 『夏の陣』研修会 開催要項

～『教室での ICT 活用のノウハウの交流とプログラミング体験をしよう!』～

平成 28 年 6 月

これまで、札幌学校 ICT 活用勉強会に参加して頂いた市内の先生方と一緒に積み上げてきた、教室での様々な ICT 活用のノウハウやヒントを交流し話し合う場、そして文部科学省でも本格的に検討を始めた「プログラミング教育の必修化」に先駆け、実際にプログラミングを体験する場、さらには宮城教育大学技術教育講座の安藤明伸准教授にご協力を頂き、球形ロボット「Sphero SPRK」を制御するプログラム作りに挑戦する場などなど、今回は盛りだくさんの研修ができる場を設定いたしました。当日はアドバイザーとして安藤明伸先生にもご参加いただきます。文部科学省のお仕事も精力的にされている先生ですので、中央の ICT 活用の情報や「プログラミング教育」などについて、お聞きすることができますと考えています。

また、今年の「夏の陣」研修会は EPSON 販売のご協力で、会場に EPSON 販売札幌支社の会議室をお借りし、大判プリンタの活用についても研修することができます。是非、興味関心のある先生方の多数のご参加をお待ちしています。

主 催 札幌学校 ICT 活用勉強会 (平成 23 年 8 月発足)  
事務局 札幌市伏見相談指導教室内 代表 堀田隆史(市教委外字アドバイザー)  
E-mail : sapporoict@gmail.com

日 時 平成 28 年 8 月 17 日(水) 第 1 日目  
1 コマ目 : 9 : 30 ~ 11 : 30 ← 内容(1) (+選択課題の説明含む)  
2 コマ目 : 13 : 00 ~ 14 : 30 ← 選択課題 ① ~ ⑤の中から選択してください  
3 コマ目 : 15 : 00 ~ 16 : 30 ← 選択課題 ① ~ ⑤の中から選択してください  
平成 28 年 8 月 18 日(木) 第 2 日目  
1 コマ目 : 9 : 30 ~ 11 : 30 ← 内容(1) (+選択課題の説明含む)  
2 コマ目 : 13 : 00 ~ 14 : 30 ← 選択課題 ① ~ ⑤の中から選択してください  
3 コマ目 : 15 : 00 ~ 16 : 30 ← 選択課題 ① ~ ⑤の中から選択してください  
※一日目に参加された方は、二日目の午前中から、選択課題に挑戦されても OK です。  
※一日だけ、一コマだけの参加も受け付けています。

場 所 EPSON 販売株式会社 札幌支店  
札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 6-5  
札幌イーストスクエア 7 階 会議室

参加人数 20 名 ~ 30 名程度  
※人数が多くなった場合はメ切ります。

参加申込 参加申込み用紙に必要事項をご記入の上、メール添付または Fax にてお申し込みください。お問い合わせも下記にお願いします。



E-mail : sapporoict@gmail.com (または校務支援システムメール可)

Fax : 011-551-0862 (堀田宛) TEL : 011-551-0851 (伏見相談指導教室)

注意 : 参加を受け付けた方には必ず返信メールまたは FAX をお送りします。

返信メールまたは FAX が届かない方は参加できない場合がありますのでご注意ください。

ご協力をお願い 個人でお持ちのポケット WiFi 等の無線ルータを、供用使用させていただける方を募集しています。研修会当日だけの限定で是非ご協力ください。

参加人数情報 URL : <http://sapporoict.jimdo.com/>にて随時公開します。また、「夏の陣」研修会の様々な情報、そして要項や参加申込み用紙もダウンロードできます。

(1) 「教室に持ち込む ICT 機器を考え、その活用方法を考えてみよう」 ← 担当 堀田

- ・タブレットを教室に持ち込むノウハウや合理的配慮  
iOS、Android、Window タブレットを教室に持ち込む際の留意点や、それぞれの特徴、実践例など
- ・スティック PC の活用  
スティック PC の利点を生かす活用法、スマホでマウス操作&キー入力、EPSON の簡易電子黒板機能付き超単焦点プロジェクタとの組み合わせ活用など
- ・授業に使えるサイトやコンテンツ  
Google CULTURAL INSTITUTE 「Art Project」「歴史アーカイブ」「World Wonders」の活用  
教科書を補完するツール 実践から使えるサイトの交流
- ・宮城県の教科指導における ICT 活用モデル(MIYGistyle) 宮城教育大学技術教育講座 安藤明伸 准教授

(2) 「選択課題」 次の①～⑤の中から興味関心に応じて選択して研修します。

- ① EPSON 大判プリンタを使い倒す！ ← 講師は Epson 販売の方  
児童生徒の輝く笑顔の写真データを USB メモリ等でお持ちください。  
大判印刷して持ち帰れます。掲示の仕方についても具体的に紹介します。



② 日本語でプログラミングに挑戦！

「ドリトル」：タートルグラフィックスを基本に、小学生でも取り組みやすい  
「なでしこ」：Word, Excel と連携したプログラムを組むことができ実用的、やや難しい？

この二つのプログラミング言語のどちらかを使って実際に、教育用ノート PC にセットして、テキストに沿って体験学習したり、課題を解決するプログラミングに挑戦します。教育用ノート PC は福井野中学校からお借りしますが、ちょっと古い PC でも十分に活用できます。

③ 球形ロボット「Sphero」制御のプログラミングに挑戦！

宮城教育大学技術教育研究室のご協力を得て「Sphero SPRK」を6台お借りして研修します。原則としてご自分のスマホ、またはタブレットをご持参頂き、それを使ってプログラミングを組み「Sphero SPRK」を自由に制御することに挑戦します。

※アドバイザー：宮城教育大学技術教育講座 安藤明伸 准教授

対応機種：iOS か Android のスマホまたはタブレットに、必ず下記のアプリ、いずれかをインストールしてご持参ください。(全て無料です!)



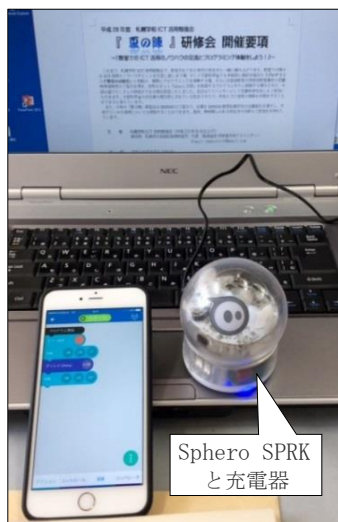
標準のプログラミングアプリ、Scratch 感覚でプログラミングができます。



マクロ的なプログラミング



昔懐かしい Basic 的なプログラミング環境



Sphero SPRK と充電器



Ollie



BB-8

「Sphero SPRK」の兄弟「Ollie」と、スターウォーズでお馴染みの「BB-8」も1台ずつ参加します。  
個人的にお持ちの方は、是非ご持参してください。

④ 教室で ICT 機器を活用する 実習編(自分でやってみる)

ご自分の手で実際に ICT 機器を操作して授業での活用を考える。ご自分の iPad やスマホを実際にプロジェクタに接続して画面を映してみましょ。操作性は？ 接続は簡単？ トラブルは？ 質問点は？ 『百聞は一見に如かず』プロジェクタも教室の大型 TV も接続の操作は同じです。

⑤ 参加者、EPSON 関係者、勉強会代表などとフリートークする。

特に課題を選択しないで、参加している先生方、業者の方々、宮城教育大学の安藤先生などと、他の方の研修に邪魔にならない程度にフリートークする。